

1年間の思い出を音楽で —和音の音で音楽づくり—

5年音楽科 2月 18Q〈6時間〉
附属新潟小学校 教諭 佐藤 史人

1 本題材で目指す姿

体験や思い出と音楽表現とを関連付けて、自分のイメージに合う音楽をつくる子ども

具体的には、1年間の思い出を表現する音楽をつくる活動を通して、体験や思い出等の具体的なイメージと音楽表現とを関連付けて考えながら、「運動会の思い出を表すために、力強くスピード感のあるリズムを表現しよう」等、どのように表すかについて思いや意図を見いだす力を発揮して、イメージに合う音楽をつくる姿。

2 本題材で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> ○音符、休符、記号や音楽にかかわる用語の意味や働きについて音楽活動を通じた理解 ○思いや意図などを音楽で表現するための技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りながら、伝えたい場面のイメージに合う音楽表現を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ○創造的に音楽にかかわり、1年間の思い出を表現する音楽をつくる活動への意欲を高め、音楽経験を生かして、自分のイメージに合う音楽をつくらうとする態度

3 関連する学習

[第5学年] 音楽科
— ホームページの
BGMをつくらう —



[第5学年] 音楽科
— スライドショーの
BGMをつくらう —



[第5学年] 音楽科
— 1年間の思い出を音楽で —

4 題材の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
音楽科 (次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4グループで思い出に合う音楽をつくる。 ★音楽科①② ・ 4グループの曲を連続して演奏しよう。 <p>○ グループの曲と曲とのつながりがスムーズにスムーズにいかない。</p> <p>グループの曲と曲とのつながりをよりスムーズにするにはどうするとよいだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「5年1組の1年間の思い出を表現する」ことを改めて提案する。 <p>※ 学習課題を板書する。</p>	9Q 3時間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽を形づくっている要素とその働きに着目し、音楽表現を工夫する見通しもつ。 <p>○ つなぐ旋律をつくって、グループの音楽をつなげたいです。 音楽科③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 曲と曲とのつながりをスムーズに表現している音楽のモデルを提示し、感想を問う。 <p>【働き掛け1】 ※ 教師がつくった音楽のモデルを提示する。</p>	3Q 1時間

- 楽器やツールを使って音楽をつくる見通しをもつ。
 - ・つなぐ旋律をみんなでつくろう。
 - ・音楽制作支援アプリを使って、つなぐ旋律の和音進行を全員で考えよう。

☆協働性
☆ツール活用能力

- 自己の5年1組のイメージと和声の響きとを関連付けて考え、つなぐ旋律をつくる。
 - ・5年1組の明るい感じに合ってるね。
 - ・C-F-G-Cの和音進行ができたね。
 - ・和音進行の次は他のパートの演奏を考えよう。
 - ・僕はこんな旋律を考えました。
 - ・私はこんな旋律を考えました。
 - ・2つの旋律を続けてみたらどうかな。

○ つなぐ旋律が完成したね。思い出の曲と曲とを実際につないでみたいな。

- 中間発表を行い、自己のイメージと音楽とを関連付けて考え、新たに工夫すべき点に気付く。
 - ・つなぐ旋律を活かしてグループの曲と曲とをつないで演奏しよう。
 - ・曲がスムーズにつながったね。
 - ・最後は、もっと終わった感じを出したいと思いました。

もっと終わった感じを表現するにはどうすればよいだろうか。

- 自己のイメージと音楽表現とを関連付けて考え音楽の終わり方を工夫する。

- 音楽制作支援アプリで確認しよう。
- 最後の和音の音を3回伸ばそう
- みんなで合わせてみよう。

☆音楽科①②
☆ツール活用能力
☆協働性

- 思い出の音楽を発表する。振り返りシートに記述する。

○ テーマは『全力で競技し応援した運動会』です。私たちは、全力で競技した様子と、心一つにして応援したを応援合戦の頑張り伝えたいと思いました。まず、バスドラムとスネアドラムで速いリズムを反復しながらスピードに乗って走る感じを表現しました。次に場面を変えて応援合戦を表現しました。速度をゆっくりにしてリズムをシンプルにして力強さを出しました。そして、みんなの気持ちの高まりを表現するために楽器を増やして音を大きくしていき、最後は全員で音を合わせて、優勝を表現しました。

- ◆ 楽器とツールを提示し、音楽づくりに必要なものを選択させる。

【働き掛け2】

- ※ 子どもが使いこなせる楽器を貸し出す。
- ※ 音楽づくりで有用性を感じているツール（五線譜シート、タブレット端末の音楽制作支援アプリ）を用意する。

- ※ 全体の前で音楽制作支援アプリを操作したり、みんなの意見をまとめたりする子どもを指名する。

- ◆ つなぐ旋律を活かして曲と曲とをつないだ作品の中間発表会を設定し、発表した感想を問う。

【働き掛け3】

- ※ 演奏交代の流れを確認する。
- ※ 音楽を工夫したいなどの意見を取り上げ、全体にも同意を確認する。
- ※ 新たに工夫すべき点を提示する。

- ◆ 要素の働きを感じ取りやすい参考曲を提示し、気付いたことを問う。

【働き掛け4】

- ※ 気付かせたい要素（反復、音の重なり、変化）の働きを感じ取りやすいモデル曲の最後の部分を提示する。
- ※ 意見を、音楽を形づくっている要素ごとに整理して板書する。

- ◆ 発表会を設定し、作品の特徴を振り返りシートに記述させる。

【働き掛け5】

6 Q
2 時間